

【書く・なぞる】俳句 種田山頭火 四

酔いざめて 路ゆく山の 青さかな

たつた一人 日のあたる道を 来ている

水音の うるさくて泣く

泣くも一人 笑ふも一人

サイダーの 泡立ちて消ゆ 夏の月